

春号

第140号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/>)

- | | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鹹沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

- | | | | |
|-------------------|------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会 | 山梨県タクシー協会 | 社団法人・山梨県バス協会 |
| 山梨県自動車販売店協会 | 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会 |
| 山梨県二輪車安全普及協会 | 山梨県自転車軽自動車商協同組合 | 社団法人・山梨県建設業協会 | |



交通安全推進県民大会

県警察本部 山梨県交通対策推進協議会 (財)山梨県交通安全協会

やめようよ自分のルールで走るのよ



2月に開いた「交通安全推進県民大会」で披露される高齢者の反射材を使ったファッションショー
＝白根町の白根桃源文化会館

シートベルトは命を守る

春の全国交通安全運動 4月6日から15日

春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間全国一斉に行われます。この運動は、広く国民の交通安全思想の普及・浸透を図り、交通事故防止の徹底を狙いとしています。運動の期間中、山梨県内でも県、県警、県交通安全協会をはじめ、関係機関・団体が協力して、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進し、地域に密着した街頭指導や交通安全活動などのPR活動を繰り広げ交通事故の減少に取り組めます。

運動の重点は①シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底②子どもと高齢者の交通事故防止③飲酒運転など悪質・危険な運転の追放の三点です。県民一人ひとりが交通ルールの順守と正しい交通マナーを実践し、交通事故防止に努めましょう。

交通安全カレンダー

- 平成14年 4月6日～15日 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会 二輪車安全運転山梨県大会
- 7月 夏の交通事故防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成15年 2月 交通安全推進県民大会

内容紹介

- 2、3面 交通安全推進県民大会の詳細と表彰者紹介
- 3面 交通安全国民運動の中央大会
- 4、5面 地区安協の活動だより
- 6面 毎月14日は「シートベルトの日」
- 7、8面 協賛団体の交通安全活動

交差点

▼昨年JAF(日本自動車連盟)で行ったシートベルト着用の全国調査によると、山梨県内の着用率は67.7%と全国平均の83.9%を大きく下回っています。またその着用率は、3年連続して全国で最低という不名誉な記録でした。

▼一方、昨年の交通事故による死者数は97人、そのうちシートベルト着用対象者46人中着用者は11人で着用率は、23.9%と極めて低い結果です。さらに県警の調査によれば、非着用者35人のうちシートベルトを着用していれば助かったと認められる人が15人、つまり、救命率は42.9%となんとも寂しい数値となっています。

▼このように、たいした努力もまた運転操作にも支障のないシートベルトの着用率が低くなっているのは、単に「面倒だから」「すぐ近くに行くのだから」などドライパーとしての基本的な心構えに問題があるのではないのでしょうか。

▼私事で恐縮ですが、愚息が大学生時代友人とドライブに行く際、一人だけシートベルトを着用したところ、「何でシートベルトなどを着用するのだ」との問いかけに「子供のころからの習慣でベルトを締めないと落ち着かない」と答えた、との話を聞いたとき、まさに、子供は親の背中を見て育つことを実感しました。

▼私たちは自らの命を守るとともに未来を担う子供たちのためにもシートベルト着用という小さなルールを徹底して守っていく必要があるのではないのでしょうか。

優秀安協に小笠原・長坂・大月

2001年度の県内交通安全功労者を表彰

鯉沢・南部・日下部は優良



表彰される交通安全功労者ら
＝白根町の白根桃源文化会館

山梨県警、県交通安全協会は二月十八日、白根町の白根桃源文化会館で交通安全功労者などの表彰式を行いました。表彰式は、受賞者をはじめ交通安全関係機関・団体の役員など約五百人が出席、長年交通事故防止に功績のあった交通安全功労者や交通安全団体、永年無事故・無違反で他の模範とされる優良運転者など、十七団体、一事業所、四百十四人に表彰状と感謝状、記念品が贈られました。

受賞団体と受賞者は次の通りです。(敬称略)

◎関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰
交通安全功労団体 下部コミュニケーションテレビ (市川) 株式会社大月自動車学校(大月)
交通安全優良事業所 山梨総合運輸株式会社(県トラック協会)

▽優良運転者 羽中田進(甲府) 山口貞昭(南甲府) 米山房子(小笠原) 深沢正樹(韮崎) 清水

克彦(長坂) 深沢定富(鯉沢) 石原文枝(市川) 渡邊正(石和) 石川外史子(塩山) 渡辺進(富士吉田) 天野猛雄(大月) 石井剛(上野原) 田中義三(県トラック) 奥脇和幸(県バス) 茅野健一(県タクシー) 伊藤利次(県身障者)

◎山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会連名表彰
▽優良交通安全協会(賞状)【優秀賞】小笠原、長坂、大月

【優良賞】鯉沢、南部、日下部
▽交通安全功労者および団体
【交通安全功労者】志村友男、榎信恵子(甲府) 伊藤勝夫、河野昭太郎(南甲府) 堀内重雄(長坂) 金丸光重、有泉由美子、依田三義、仲沢昇、望月照健(鯉沢) 小林桂(大月) 赤池久美子、奈良文子(母の会)

【交通安全功労団体】里垣地区交通安全母の会(甲府) テノヨ武田(南甲府) 韮崎市商工会(韮崎) 小淵沢町立小淵沢中学校(長坂) 鯉沢交通安全協会婦人部(鯉沢) 富士吉田トランペット隊(都府) 富士吉田市向原老人クラブ、

子(都留) 三浦紀元、和光修学、渡辺照男、井出武郎(富士吉田) 西室孔水、川野清(大月) 嶋崎庄市、小俣幸男(上野原)

▽優良安全運転管理者 才オキ 飯沼照夫、山梨銘誠・北原雄次、南部自動車教習所・真保修更、滝沢電気・大須賀博一、佐藤建設工業・佐藤良夫、山光工業・菅原幸光、相模物産上野原工場・石井幸(優良運転者) 松本喜章、清水健夫、山本達雄、土橋晶一、末木文子、中込一博、角田輝男(甲府) 古川久江、藤本寛、鷹野克己、黒倉昭榮、五味正次、藤代建男、小菅智江(南甲府) 澤登正明、手塚唯美、内藤恒雄、小林岩美(小笠

原) 日向武紀、篠原珍彦、秋山和幸(韮崎) 進藤文博(長坂) 佐野都夫、石井節子(鯉沢) 田中重忠(南部) 佐野保志、深沢哲夫(市川) 鈴木由美子、桐佳幸、三枝嘉雄、芦沢政實(石和) 遠山光敬、坂本眞(日下部) 三森徹彌、早川健児(塩山) 小俣光男、高部照子(都留) 高村稔、渡邊久雄、遠山初江、宮下一子、腰原章吉(富士吉田) 藤本政幸、佐藤博之(大月) 門原務、安藤博文(上野原) 伊東伸一、後藤和巴、野中義夫(県トラック) 佐藤勝八、安留忠夫、内藤進(県バス) 石原正信、小池洋一(県タクシー) 久保田治郎、中村孝昭(県身障者) 森沢昭二、青柳修(二推)

忍野村立忍野小(富士吉田) 上野原町立平和中(上野原)

【交通安全功労役員】川口武正、雨宮健三、星野健一、浅川昭司朗、藤原邦夫、吉田重治、窪田忠男、飯窪宗男、芦澤すみ子、小田切淳子(甲府) 田中茂広、藤巻秀明、桐山弥、中山有、渡辺節男、久保寺優、新田健児、橋田俊夫、望月金治、小林才名(南甲府) 澤登秀樹、渡辺勇、今津辰三、伊東隆雅、向山正己(小笠原) 小林英雄、飯室庄一、田中幸三、伊藤勇蔵、内藤八千代(韮崎) 小池王雄、中澤悠(長坂) 天野竹春、穂坂熊男、滝戸文昭、仲尾知育、山本晴敏、稲葉福義(南部) 有泉敏雄、土橋國生、加藤淑子、深澤健一、中野敏夫、一瀬正(市川) 小泉千太郎、渡辺宗義、前島了、武川高仁、藤原今朝男(石和) 望月重光、岸本武久、田辺明、上田英次(日下部) 中村剛、網野登季、宿沢惣一、若林敏彦(塩山) 岡部まち代、天野三重子、幡野美好、小池康雄(都府) 堀内好光、織田一成、森屋和夫、勝保石司、志村映二、梶原篤、

はつみ、幡野喜一、細川富士夫、藤明弘、志村藤太郎、渡辺幸三、島崎茂子、北村貞子、小俣たかの、松土保弘、渡辺英明、安留安文、佐藤益弘、佐藤英樹、平井保正(都留) 渡邊茂治、後藤公彦、渡辺力男、刑部弘三、谷内武久、上小澤虎雄、渡辺さつき、武藤敏八、渡辺勉、廣瀬昭昭、宮下清志、三浦正司、小林信夫、宮下啓明、渡辺文夫、齋藤廣、沼田雅幸、鈴木了二、奥脇俊一、梶原伸彦(富士吉田) 小高周吉、梶原仁美、中田民雄、安部栄一、渡辺愛子(大月) 宇津木保孝、不動田一男、富田佳代子、和智征夫、桑原春男、守重敏夫(上野原) 古屋一光、内田春見、宮川一、望月文彦、小尾卓朗、田辺隆(県トラック) 奥山政一、堀内勉、平井久二、上条久登、宇津木英浩、葛木武行(県バス) 細田正澄(県タクシー) 高松盛幸、水上正昭、三井恵美子、清水和子、尾上良正、山口啓子(身障者) 小俣友明(自転車組合) 雨宮文彦、角矢芳彦、小沢清美、相馬恵生、高野実、清水武司、鶴田治彦(二推)

最近の交通情勢をみると、交通事故の増加、都市部を中心とした慢性的な交通渋滞や道路交通に起因する生活環境の変化など、さまざまな面で「くるま社会」の歪みが顕著となつてい

このような状況の中で、二〇〇一年の交通事故による死者数は、全国では、二十年ぶりに九千人を下回りましたが、八千七百四十七人の尊い命が失われ、本県では、前年に比べ十六人も増加し九十七人ものかけがえのない命が犠牲となりました。

また、交通事故の発生件数、傷者数については、統計史上最高であった前年に比べれば若干減ったものの、

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

また、飲酒運転による交通事故は二百六十九件発生、十二人が亡くなり、全交通事故に占める構成率は全国的にもワースト上位に位置づけられているほか、シートベルトの着用率が三年連続して全国最低になる

交通安全は自分自身で

県警交通部長 遠藤 勇



の高まりと相まってその効果が高まるものです。そのためには、ドライバーや歩行者など道路交通にかかわるすべての人々が、交通安全を自分自身の問題として捉え、正しいルールと交通マナーを身につけ、他人に対する思いやりの心

業務の適正化に係わる法律が制定され、それぞれ六月一日から施行されるなど安全で快適な「くるま社会」の実現に向けて国をあげて鋭意取り組んでいます。

県警では、このような情勢を踏まえて、本年の重点施策に「交通死亡事故の抑止」を掲げ、交通事故そのものを防止するために参加・体験・実践型の交通安全教育をはじめとする諸施策を総合的に推進しています。

今後、各種事故防止対策を推進する中で、関係機関、団体とともに県民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図りたいと考えていますので、県民の皆さんのなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

交通事故ゼロを誓う

白根で交通安全推進県民大会

官民一体で積極活動

交通安全推進県民大会(主催 山梨県交通安全協会)が二月十八日、白根町の白根桃源文化会館で開かれました。



交通安全推進県民大会に参加した安協関係者ら

天野建知事、中沢見山県警本部長、山下道男県交通安全協会副会長、保坂武県議会議長、風間善樹公安委員、数野強教育長をはじめ関係者約七百人が参加しました。



地区安協婦人部からチャイルドシートの着用の仕方について説明を聞く地耳安協関係者ら
=いずれも白根町の白根桃源文化会館

今年は大大会が始まる前に会場ロビーなどで、後援団体の日本自動車連盟山梨支部と各地区安協婦人部チャイルドシート指導員による、チャイルドシート着用とエアバッグ実技講習を行い、大勢の人が見学しました。

第一部では、主催者あいさつ、来賓の祝辞に続き、「山梨県飲酒運転絶滅作戦」優良市町村の表彰、増加傾向にある交通情勢の説明がありました。

この後、県老人クラブ連合会の一瀬金造会長が、「生命の尊さと交通事故の重大性を認識し、六つの対策を強力に推進すること大会宣言(別掲)、参加者全員が誓い合いました。

第二部では、昨年の中学生交通安全弁論大会で優秀な成績を収めた佐藤綾さん(上野原平和和三年)と伊藤香絵さん(武川中三年)が弁論発表しました。

また白根町老人クラブを中心に反射材フッションジョーが行われ、参加者全員が腕に反射材(リストバンド)を

交通安全宣言

悲惨な交通事故をなくすことは、山梨県民共通の願いであります。平成13年中は、県民あけて交通事故による山梨県の死者は97人で、前年より16人も増加し、交通事故発生件数・傷者数も依然として高い水準で推移しており、厳しい交通情勢であります。ここに、平成14年交通安全推進県民大会を開催するに当たり、生命の尊さと交通事故の重大性を深く認識し、安全で快適な交通社会を確立するため、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加するすべての人々と協力し、県内の地域、家庭、学校、職場において、次の諸対策を強力に推進することを誓います。

- 1 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の推進
- 2 高齢者と子供の交通事故防止活動の推進
- 3 飲酒運転追放活動の推進
- 4 夕暮れ時の「早めのライト点灯運動」の推進
- 5 地域における交通安全教育の推進
- 6 夜間における反射材着用の推進

以上宣言します。

平成14年2月18日

交通安全推進県民大会

高齢者事故防止へ重点7項目を推進

県警がモデル地区選定

山梨県警がまとめた県内の二〇〇一年中の交通事故死者数は、九十七人と、一昨年に比べ十六人も増加しました。このうち、高齢者の死者数は三十九人と実に前年に比べ十七人、七七・三%増と高く、このうち、歩行中の被害者が二十人も含まれていました。

モデル地区三十四カ所を選定し、高齢者の交通事故防止活動を推進しています。高齢者の歩行中の交通事故を分析してみると、二十人中十八人が運転免許を保有していない状況であったことから、運転免許を保有していない高齢者や交通安全講習会等の受講機会がない高齢者を重点に

○高齢者宅への戸別訪問指導の実施
○公民館単位の交通安全教室の開催
○参加・体験・実践型の交通安全教室の開催

緑十字金賞に小澤、湯山氏

県内から7人5団体表彰

東京で交通安全中央大会

第四十二回交通安全全国民運動中央大会(主催・全日本交通安全協会、後援・内閣府、文部科学省など四省二団体)が一月十七、十八の両日、東京・日比谷公会堂で開かれました。

十七日は「分科集会」を開き、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会で話し合いました。今年度は交通安全教育部会で、県警本部交通部企画課の守山清美女性警察官が交通安全教育

授与されました。山梨県関係では次の通り、七人五団体が表彰されました。

この後、交通栄誉章緑十字金章・銀章、優良団体などの表彰、交通安全協力団体に対する感謝状の贈呈、交通安全年間スローガンやファミリー作文の最優秀入選者らに内閣総理大臣・内閣官房長官賞が授与されました。

十八日の「本会議」では、まず交通事故犠牲者に黙とうをささげ、続いて全日本交通安全協会の平岩外四会長があいさつし、常陸宮殿下からお言葉をいただき、内閣総理大臣をはじめ来賓が祝辞を述べました。

◇緑十字金章▽交通安全功労者 小澤照彦(県安協理事・山梨県タクシー協会会長)▽優良運転者 湯山喜六(県安協理事・富士吉田安協会長)



小澤 照彦氏



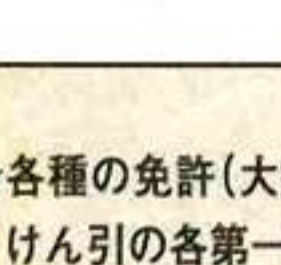
湯山 喜六氏



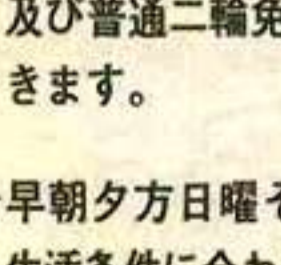
和田 博夫氏



山本 重成氏



石川 忠光氏



深澤 豊氏

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の名第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝夕方日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828
(免許センター内)
TEL.(055)285-0752

「春の運動」の 主要行事決定

〇：市 川

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、警察署、交通関係機関・団体と協力して四月六日から始まる「春の全国交通安全運動」の主要行事を決めました。

街頭指導所の開設(管内主要道路・駅利用者などに交通安全チラシや啓発用品を配布し、シートベルトやチャイルドシートの着用を呼び掛ける)、保育園・幼稚園の訪問活動(交通安全を呼び掛ける紙

芝居を上演)、ゆとり講習(高齢運転者に対して適性検査、コース走行などの参加・体験型の講習会)などを実施します。

ビデオ使って 交通安全教室

〇：南 部

南部交通安全協会は二月十五日、南部町の睦合保育所で交通安全教室を開きました。



信号機や横断歩道の渡り方を学ぶ
保育園児ら

交通安全支援員が交通講話と交通安全ビデオ上映によって、道路の正しい横断方法について指導しました。

新入学児童に 交通安全教室

〇：畷 沢

また同日、身延町の身延橋東交差点で、大野山保育園と大島保育園の園児四十二人を対象に交通安全教室を開きました。

交通安全祈り 標語塔を設置

〇：都 留

都留交通安全協会開地支部(杉本文正支部長)と三吉支部(小俣光男支部長)は、都

留市内の住吉橋北詰めに交通安全標語塔を建てました。地元(都留第一中、谷村第二小、都留文科大付属小の児童・生徒から交通安全標語を募集し、その優秀作品をより多く

の住民に広報し、意識高揚を図ることが狙いです。竣工式には関係小中学生と

その父母ら五十人が出席し、全員で交通安全啓発を願って交通安全祈願を行いました。出席した小中学生、父母は、標語塔に自分の作品が掲載されてとてもうれしい、一生の記念になる」と感慨深そうに話していました。

富士吉田署と交通安全支援員四人は二月二十一日、富士吉田市のシチズン電子で安全運転者会十四人と同社員らを対象にシートベルト着用調査・指導を行いました。

同社は会社周辺に十四力所の駐車場を設けており、調査は二人ずつの班編成で車両二百七十四台に対して行われ、各運転者にはシートベルトの着用効果などが記載されたチラシを配布しました。

その結果、着用率七九%、着用二百七十七台、非着用台数五十七台であり、未着用者の意識調査では、「面倒だから」、

交通安全祈願祭で 事故の抑止を誓う

〇：市 川

交通安全祈願祭で、関係者相互が連携、協力して多発する交通事故の抑止を図ることを誓いました。警察署長、市長があいさつ、交通功労団体に感謝状を贈り、参加者は相互に連携、協力して地域の交通事故防止活動、交通安全思想の啓蒙普及などを一致団結して推進していくことを確認しました。

安協婦人部では、交通安全運動などの機会に街頭指導所で配布する交通安全広報啓発用品を各支部役員が五百個を製作しました。

長野・白田と協力
県境に合同指導所
〇：長 坂

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は、春の全国交通安全運動の活動を次の通り行います。

シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底関係、長野県白田安協との県境合同街頭指導所の開設・各町村街頭指導所での着用励行運動、子供と高齢者の交通事故防止関係、交通安全「わが家の誓い」

作戦・高齢者犯罪交通安全指導員講習会・ゆとり講習・高齢者に対する家庭訪問の実施、飲酒運転等悪質・危険な運転の追放関係などです。

事故絶滅へ運動盛り上げ



安協婦人部の運転の資質向上を図るために開いた
指導者講習会

都留交通安全協会西桂支部(高山勉支部長)と西桂町では高齢者の関係する交通事故が多発していることから、高齢者死亡事故抑止モデル地区の西桂町本町・柿園地

区の高齢運転者を対象に、都留自動車教習所で実践的交通安全教室を開催しました。

「いつもしないから」などが多い理由でした。

上野原交通安全協会(和田博夫会長)は、警察署、交通関係機関・団体と協力して、四月六日から始まる「春の交通安全運動」の主要行事を決めました。

子供と高齢者の交通事故防止

山梨県交通安全協会(堀内光雄会長)は一月十日、甲府・武田神社で、今年の交通安全祈願を誓いながら祈願しました。

県警交通部幹部、県安協の役員ら五十人が参加しました。拜殿では、中沢見山県警本部長と秋山登県安協副会長が玉ぐしをさげ、参列者一同が二〇〇二年の交通事故減少を祈願するとともに、交通安全の諸活動にも一層の努力をしていく決意を新たにしました。



交通事故の減少を祈願する県安協の役員ら

事故減少を祈願 県安協

山梨県交通安全協会(堀内光雄会長)は一月十日、甲府・武田神社で、今年の交通安全祈願を誓いながら祈願しました。

県警交通部幹部、県安協の役員ら五十人が参加しました。拜殿では、中沢見山県警本部長と秋山登県安協副会長が玉ぐしをさげ、参列者一同が二〇〇二年の交通事故減少を祈願するとともに、交通安全の諸活動にも一層の努力をしていく決意を新たにしました。

地球環境にやさしく
天然ガス自動車使用

ISO9002 認証取得 (申請中)
松本引越センター 関東甲信地区事業所

松本引越センター
山梨営業所
TEL. 055-240-3150
0120-22-0222
中巨摩郡玉穂町西新屋330-7

ベルト着用100% 地域ぐるみで推進

石田小児童の 標語看板設置

○：甲 府
甲府交通安全協会石田支部 (川口武正支部長) は、石田小学校周辺などに、交通安全標語看板を設置しました。川口支部



自ら作った交通安全標語の前に並ぶ石田小児童—甲府署

標語が書かれた看板を設置しました。子供たちに交通安全に関心を持ってもらおうと、同小児童から標語を募り、二百三十首の標語のうち、各学年一人ずつ計六百首を選んで看板を製作しました。

「春の運動」へ 重点4項目推進

○：南 甲 府

南甲府交通安全協会(山下讓二会長)は、警察署、交通関係機関・団体と協力して、四月六日から始まる「春の交通安全運動」の主要行事を決めました。

○：日 下 部
日下部交通安全協会(天野経廣会長)は、春の全国交通安全運動の活動を次の通り行います。

○：石 和
石和交通安全協会(杉田睦彦会長)は、警察署、交通関係機関・団体と協力して、四月六日から始まる「春の交通安全運動」の主要行事を決めました。

○：小 笠 原
小笠原交通安全協会(名取和久会長)は、春の全国交通安全運動の活動を次の通り行います。

長は、「子供たちの標語を掲げることによって石田地区から事故が一件でも減ることが目標です」と話していました。

積極的に交通街頭指導などに取り組んでいる甲府署管内交通安全支援要員六人は、市民より激励の言葉を受けました。二月七日に甲府警察署東交差点においてシートベルト着用指導を実施中に、車で通りかかった男性運転手から「シートベルト着用者が少ないのでしっかり指導してください」「頑張ってください」と声をかけられました。

また、同八日には甲府駅南口エクスプレススクリーンに乗ろうとしたつえをついた七十歳くらいの男性が転倒したのを見て手を貸し抱き起こし、警備員に引き継ぎました。

総合行事として、①安全運動出発式と街頭指導所の開設・管内主要事業所を訪問し黄色い羽根などの配布と、交通安全指導の実施・総合街頭指導所の開設②シートベルト着用者の徹底では、シートベルト・チャイルドシート着用街頭指導所開設③子供と高齢者の交通事故防止では、高齢者交通安全講習会の開催・通学路の安全確保点検④飲酒運転の絶滅では、飲酒運転追放

安協から

塩山交通安全協会管内は、武田の史跡が数多くあり、テレビ放映の影響などから、これら史跡を訪れる観光客が多く、また春の桃、秋のブドウなどの産地として県内外の行楽車両が増加し、幹線道路での交通事故が発生しています。このため、協会では関係機関、団体と協力して街頭指導所を開設するとともに役員五百六十七人が総力をあけて地域における交通事故防止活動を行っています。

三十四人減」と件数、傷者ともに前年より大幅に減少しましたが、死者は一人増加し二年連続死者「二人」に抑止することができました。

また、昨年の物件交通事故は、五百三十二件(前年比二十件増)でした。

こと ○シートベルトの着用率が低かったこと
などが挙げられます。

ところで、交通事故が起きる三大要因には、「人」、「車」、「道路交点環境」が挙げられ、そのなかでも人為的なミスが交通事故の原因

足の運転などが横行している現状では、この言葉もむなしく響きかねません。運転者一人ひとりの行動を変える努力をしないで、フェイルセーフの必要性のみを強調することは、本末転倒になってしまいうからです。フェイルセーフとは、たとえ人が失敗しても安全を確保できるシステムのことをいいます。

広げよう地域交通安全の輪

塩山交通安全協会会長 曾根 富夫



最後に、今年も関係者のご指導とご協力を受けながら、われら塩山交通安全協会役員が地域のリーダーとなり、地域交通安全の輪をさらに広げながら、安全で住みやすい「峡東地域ぐるま社会」の実現に努力を惜しまずにはられないと考えています。

交通事故の 減少を祈願

○：塩 山

塩山交通安全協会(曾根富夫会長)は一月十八日、塩山市の菅田天神社で交通安全祈願祭を開きました。交通安全協会役員や塩山署員ら約六十人が参加し、今年一年間の交通事故の減少を祈願しました。また参加者全員で交通安全宣言をしました。



交通事故減少を祈って！ 役員ら

塩山安協 菅田天神社

指して、交通安全協会役員が中心となり、地域のきずなを深めながら交通マナーの向上に努めていこう」とあいさつしました。

街頭指導所の開設・管内巡回指導・安全運転チャレンジ200日達成表彰式などです。

交通安全弱者対象に
安全教室を開催

○：小 笠 原
交通安全弱者対象に安全教室を開催

○一年の人身交通事故の発生状況は、発生件数二百件(前年比二十件減)、死者数三人(前年比一人増)、傷者数二百四十三人(前年比

管内の交通事故の特徴を見ますと、

○市町村道の事故発生が全体の約四割であったこと

○四十歳代が若年者や高齢者の事故件数を上回ったこと

○追突事故と出会い頭事故が全体の約五割であったこと

○車両単独による事故が多かった

の大半を占めており、それを防ぐ対策として、交通安全教育や交通取り締まりなどが行われます。「交通安全対策」は国民一丸となった全面作戦であるべきだと常々考えています。「人間はミスを犯す。したがって、フェイルセーフが必要である」とよく言われますが、飲酒運転・わき見運転・車間距離不

パトロール・飲酒運転の取り締まり強化などを実施します。

交通安全歩け歩け大会
高齢者を対象に開催

○：日 下 部
日下部交通安全協会(天野経廣会長)は、春の全国交通安全運動の活動を次の通り行います。

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定

**岳麓自動車
教習所**

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二(合宿施設有)

ベルト着用向上へ

(二〇〇一年の県着用率六十七％、全国平均着用率八三・九％)。
県はこのような状況から、

山梨県内におけるシートベルトの着用率は非常に低く、日本自動車連盟(JAF)の調査によると一九九九年から二〇〇一年まで三年連続全国最低という不名誉な状況です

広く県民にシートベルトの着用を呼びかけ、着用率の向上を図ることを目的に、毎月十日を「死を止めるシートの日」としてシートベルト着用率一〇〇％キャンペーンを行

「シートの日」毎月14日に

県、100%めざし啓発運動



シートベルト着用率100%を目指してのキャンペーン
＝甲府市内

い、広報啓発活動、街頭活動、指導取り締まりなどを行いま

す。

交通事故で亡くなった人のシートベルトの着用率は非常に低く(二〇〇一年着用率二三・九％)、約半数の方がシートベルトを着用していれば助かったと認められます。

「大人が法を守らない」大変不名

誉で残念なことでありませ

今年二月十四日に実施された

「シートベルトの日」キャンペーン

では、県内各地で多くの人々の

ご参加をいただいたと聞いており

昇しました。

ベルト着用率めざせ日本一

前山梨県議会議長 保坂 武



昨年、着用率日本一の長崎県が九四・八％でしたから、まさに日本一

立場に立ち、思いやりを持って行動することが非常に大切であります。

私も地元竜王町で朝の通勤時間帯に参加しました。朝七時半から八時二十分の間、二路線、二区間で手作りの「アラカード」のぼ

となるのも夢ではありません。

「今日もとめる(十)シート(四)ベルトの日」毎月十四日はシート

ベルト着用キャンペーンの日であります。皆さん運転はシートベルトしてからスタートしましう。

安全運転200日に挑戦

山梨県は「守ろう！交通ルール 高めよう！交通マナー みんなの約束！無事故無違反」を合言葉に、セーフティドライブ・チャレンジ作戦「やってみるじゃん！チャレンジ200」の参加チームを募集しています。これに挑戦し、悲惨な交通事故をなくしましょう。

5月31日まで参加者募集

千九百九十二チーム(二万九百二十人)が参加して千二百七十八チーム(五八％)が無事故・無違反を達成しました。また二〇〇二年二月十五日には表彰式・抽選会(一等三十万円旅行券・二等十五万円旅行券・特別賞リニア試乗券など全百八十四本)が行われました。

募集期間 4月22日(月)～5月31日(金)まで
実施期間 6月15日(土)～12月31日(火)までの200日間
参加料 1チーム7,000円(1人700円)：運転記録証明書申請手数料)
申し込み及び問い合わせ先 各地域振興局企画振興部 県民生活商工担当または、交通政策課内セーフティドライブ・チャレンジ作戦実行委員会 電話055・2223・1353、FAX055・223・1326

運転代行業適正化の法律

6月1日に施行へ

「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律」は、立、六月二十日に公布され、

二〇〇二年六月一日に施行されます。

趣旨や概要については次の通りです。

「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律」は、

立、六月二十日に公布され、

二〇〇二年六月一日に施行されます。

趣旨や概要については次の通りです。

1 法律制定の趣旨

自動車運転代行業は、飲酒運転の防止に一定の役割を果たしてきましたが、交通事故の発生率が高い水準で推移しているほか、不適正業者によるタクシー事業類似行為、料金の不正收受、損害賠償保険の未加入等の問題も見受けられます。

また、都道府県公安委員会は、認定に際して国土交通大臣の同意を得ることとなります。

(3) 自動車運転代行業者の遵守事項

趣旨や概要については次の通りです。

1 法律制定の趣旨

自動車運転代行業は、飲酒運転の防止に一定の役割を果たしてきましたが、交通事故の発生率が高い水準で推移しているほか、不適正業者によるタクシー事業類似行為、料金の不正收受、損害賠償保険の未加入等の問題も見受けられます。

また、都道府県公安委員会は、認定に際して国土交通大臣の同意を得ることとなります。

(3) 自動車運転代行業者の遵守事項

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内二丁目32-13 日東ビル4階 TEL055-228-0691

財団法人 日本交通管理技術協会

TSマーク 区分	青マーク	赤マーク
死亡・重度障害 (1級～4級)	一律30万円	一律100万円
入院 15日以上	一律1万円	一律10万円
賠償責任 (限度額)	500万円	1000万円

TSマーク制度は、自転車安全整備店で自転車安全整備士が自転車の点検または整備を行った場合、その自転車が道路交通法令の定める、構造、性能など基準に適合する安全な普通自転車であることを確認するものです。

自転車の交通ルールや正しい乗り方などを指導した時に、その印としてTSマーク

TSマーク 自転車の安心保証

TSマークには、自転車事故の際、被害者の救済に資することを目的として、賠償責任と傷害保険が付けられています。

これからは、自転車の安全をよりとる人は、自転車安全整備店で自転車安全整備士から点検整備と安全指導を受けることが大切です。

赤色のTSマーク

普通自転車点検整備店

(財)日本交通管理技術協会

賠償責任・傷害保険付(1年間有効)
自転車安全整備士番号

4 2

点検 年 月 日

JAF(日本自動車連盟)

日本自動車連盟(JAF)では外国免許の翻訳業務を行っています。この翻訳業務とは外国で取得してきた運転免許証を日本語に訳して翻訳文を作成するものです。外国免許を日本の運転免許に切り替えるためには必ずこの翻訳文が必要となります。

近年、日本に暮らす外国人が増加し翻訳業務を始めたことにより、山梨県内での翻訳文の依頼の多い国は、一位にブラジル連邦共和国、二位に中華人民共和国、三位にタイ王国、四位にベトナム、五位にインドネシア、六位にフィリピン、七位にインド、八位にアメリカ合衆国、九位に韓国、十位に台湾、十一位にオーストラリア、十二位にニュージーランド、十三位にフランス、十四位にドイツ、十五位にイタリア、十六位にスペイン、十七位にポルトガル、十八位にオランダ、十九位にベルギー、二十位にルクセンブルク、二十一位にスイス、二十二位にオーストリア、二十三位にギリシャ、二十四位にポランド、二十五位にチェコ、二十六位にスロバキア、二十七位にハンガリー、二十八位にロシア、二十九位にウクライナ、三十位に白ロシア、三十一位にベラルーシ、三十二位にエストニア、三十三位にラトビア、三十四位にリトアニア、三十五位に立陶宛、三十六位にバルト三国、三十七位にスウェーデン、三十八位にフィンランド、三十九位にデンマーク、四十位にノルウェー、四十一位にスウェーデン、四十二位にアイスランド、四十三位にアイスランド、四十四位にアイスランド、四十五位にアイスランド、四十六位にアイスランド、四十七位にアイスランド、四十八位にアイスランド、四十九位にアイスランド、五十位にアイスランド。

外国免許は翻訳が必要

この教則本は五カ国語のものがあるため、お問合わせ先はJAF山梨支部公益事業係、電話055・243・2811。

共和国、そして台湾やアメリカ、ペルーなどが続きます。また、免許証の内容によっては当支部にて翻訳文を作成できないこともあります。山梨支部窓口では、日本の運転免許を取得される外国人の方に交通の教則本を用意しています(有料)。

24時間全国どこでも

シー・アイ・サン・キュー

#8139

JAFにおまかせ



JAF山梨ロードサービスセンター
055-241-0111

高速道路では非常電話からJAFをご指名下さい。



JAFの電話ステッカー

交通安全支援要員 44人を採用

マナー向上へ強力な助っ人



国の緊急雇用対策の一環で県安協に採用された支援要員たち



交通マナーアップ、街頭指導の説明を受ける支援要員たち

県安協

山梨県交通安全協会は、国の緊急雇用対策の一環として、山梨県警からの委託で、民間の男女四十四人を採用し、七月末までの半年間、県内各地で交通警察の活動を支援しています。交通マナーアップ活動、県内各警察署(甲府・南甲府)の活動の一環として、山梨県警からの委託で、民間の男女四十四人を採用し、七月末までの半年間、県内各地で交通警察の活動を支援しています。



おばあちゃん 運転大丈夫!?

県安協 高齢者の適性検査

山梨県交通安全協会は、高齢運転者の交通事故防止に寄与するため、各地区交通安全協会と安協会員高齢者を対象に運転適性検査を行っています。

この運転適性検査は、高齢化社会の進展により、高齢運転免許保有者が増加し高齢運転者の交通事故が多発しているために行い、検査結果から受検者に運転上の留意事項を知らせて、交通事故防止に寄与することを目的とし、地区安協単位で六十五歳以上の高齢運転者を対象に行っています。

街頭指導保護活動は、小学校、幼稚園の登下校時、通学路などでの交通安全指導と防犯活動の支援、高齢者利用施設、身障者施設周辺における交通安全指導、主要交差点での交通安全指導を行っています。

違法駐車と駐輪対策活動は、違法駐車車両などに対する監視活動、駅前での駐輪対策の支援、各種調査活動は、シートベルト着用調査等各種調査活動などを主な活動として、活躍しています。

山梨県建設業協会

身近な道路の安全確保

弱者配慮の対策重視を



身近な道路ほど狭く交通弱者には危険
＝甲府市内



建設中の中部横断自動車道。高規格道路によって県民の生活は利便性が図られる

まだこの世の中に自動車が無かった時代にも交通事故はあったのでしょうか。人口が増え、人々の往来が広範囲にわたり、物が大量に動くようになれば道を使う頻度が増し、そこにトラブルが発生するのは当然であり、米中心の経済から貨幣経済が発達した江戸時代ともなれば物の流通が大量になり、町中で馬のひく荷車に通行人がはねられ、奉行所でお裁きがされたということを読んだことがあります。文明が発達するほどスピードが要求され、人も物もより遠くへ、広範囲に行くこと、運ばれることが要求されます。そして、これを実現させるため、車、船、飛行機などの交通手段が発達します。比例して利用者や周りに及ぼす危険度も増します。その危険度をいかにして減らすかは並

二〇五〇年には日本の人口構成は四五%以上が六十五歳以上の老人となると推計されています。お年寄りや子供の安全を最優先に考えるべきです。一つのデータがあります。歩行中の高齢者が事故に遭った場所と自宅との距離は約六〇%が五百以内、また中学生以下の子供の死亡事故は四〇%近くが自宅から百以下の範囲で起きています。これは高齢者や子供の行動範囲を示したものであり、今後の少子・高齢化社会を考えると、身近な道路の交通安全が非常に重要になってきていることを示しています。地区道路とか生活道路といわれる道路は生活に密着した非常に身近な道路であり、交通弱者が圧倒的に多く利用し、そういう人たちの交通事故が前述したように多く発生しています。しかし、これらの道路は幅員の狭さが大きな特徴であり、さらに、電柱はあり、商店の営業物もはみ出してあり、快適な道路とはお世辞にも言えません。そこへ自動車が増え、遠慮会釈も無くなり込んでくるのです。交通弱者といわれる人たちが交通事故から守るためには、段差の解消、スクランブル交差点を増やす、電線の地中化などの対策が考えられますが一朝一夕に解決できるものではありません。関係者は粘り強く対処していくことで交通弱者の期待にこたえられるのではないのでしょうか。日本の道路はよく整備されてきたといわれています。公共事業に対するさまざまな議論もあります。しかし、大きな災害が発生した際の対応や経済活動の大動脈をなす幹線基幹道路の整備はまだ必要です。同時に、自動車以外の道路利用者に対しても快適で危険の無い道路整備が絶対欠かせません。尊い生命を交通事故から守るために関係する人たちだけでなく国民全員がその意識の下に知恵を出し、力を結集していかなければならぬと思います。

示したものであり、今後の少子・高齢化社会を考えると、身近な道路の交通安全が非常に重要になってきていることを示しています。地区道路とか生活道路といわれる道路は生活に密着した非常に身近な道路であり、交通弱者が圧倒的に多く利用し、そういう人たちの交通事故が前述したように多く発生しています。しかし、これらの道路は幅員の狭さが大きな特徴であり、さらに、電柱はあり、商店の営業物もはみ出してあり、快適な道路とはお世辞にも言えません。そこへ自動車が増え、遠慮会釈も無くなり込んでくるのです。交通弱者といわれる人たちが交通事故から守るためには、段差の解消、スクランブル交差点を増やす、電線の地中化などの対策が考えられますが一朝一夕に解決できるものではありません。関係者は粘り強く対処していくことで交通弱者の期待にこたえられるのではないのでしょうか。日本の道路はよく整備されてきたといわれています。公共事業に対するさまざまな議論もあります。しかし、大きな災害が発生した際の対応や経済活動の大動脈をなす幹線基幹道路の整備はまだ必要です。同時に、自動車以外の道路利用者に対しても快適で危険の無い道路整備が絶対欠かせません。尊い生命を交通事故から守るために関係する人たちだけでなく国民全員がその意識の下に知恵を出し、力を結集していかなければならぬと思います。

自動車安全運転センター

自動車安全運転センターでは、さまざまな業務を進めています。

- 1 運転経歴の証明 運転者の求めに応じて、無事故・無違反、運転記録、累積点数、運転免許経歴の証明を発行しています。証明書は、安全運



SDカード

転者としての誇りと自覚を高めるために役立っています。申請方法は同センター山梨事務所(八田村野牛島)へ来所するか警察署、交番、駐在所などに備え付けてある申込用紙でお願いします。手数料は、一通につき七百円。郵便振替による申請の場合は、振込手数料が必要です。無事故・無違反証明書、あるいは運転記録証明書の申込者が一年以上、無事故・無違反であった場合、安全運転者であることを表すSDカードを渡しています。地域ぐるみ・街ぐるみで交

証明業務や研修実施

て、事故の発生日時や当事者の住所・氏名などを記載した証明書を発行しています。手数料は六百円です。申請方法は①と同じです。③累積点数の通知 運転免許の停止処分直前の人に、累積点数を通知して安全運転を促しています。交通違反などの点数が累積して、例えば六

AMS(県自動車整備振興会)

AMS(アムス)ホームページリニューアルオープン 振興会(AMS)ホームページ(HP)が、四月一日リニューアル。その内容

HP 見やすくリニューアル



にぎわうマイカー無料点検
＝甲府・アイメッセ山梨

定期点検の説明、点検整備に関するQ&A、希望ナンバー制度、自動車整備士になるにはなどを掲載しています。自動車ユーザーの皆さまのための日常点検の実施方法などについても紹介していますので、ぜひ一度ご覧ください。ホームページアドレス <http://www.ams.or.jp>

②マイカー10分間無料点検を実施しました 三月十日、アイメッセ山梨で開催された「中小企業組合まつり」で、「マイカー10分間無料点検」を実施しました。AMS山梨青年懇話会会員が点検アドバイザーとなり、実車体験を通じた点検整備の必要性とユーザー自らの責任で愛車を管理することなどをPRし、ドライバーと一緒に車を



また、気候や気温の変化は車にも影響します。これから愛車にとって最も過酷な条件となる梅雨と真夏になります。うっとうしい梅雨を快適に過ごし、厳しい夏に備えるため、季節の節目にはAMSの看板の自動車整備工場が点検整備をお忘れなく。国家資格整備士による高度な知識と技術で、あなたの愛車の隅々まで安心整備をします。